

平成 24 年 1 月 1 日

乗馬団体 各位

日本中央競馬会
馬事公苑 診療所

家畜伝染病予防法の改正に伴う本会の防疫対応について

平素より本会業務に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、家畜の防疫対応を強化する観点から、昨年 4 月に家畜伝染病予防法が改正されました。これに伴い、馬においても別添の「飼養衛生管理基準」が設定され、10 月 1 日から施行される運びとなりました。

家畜だけではなく、ヒトや車両が病原体を拡散させる危険性があることから、今回の改正ではこれらの消毒が徹底されています。行政の指導の下、本会といたしましては、下記の防疫対応を講ずることといたしましたので、ご理解、ご協力いただくとともに、関係各所への周知方よろしくお願いいたします。

記

1. インドアエリア、普及課・診療所エリアおよび E 棟は、衛生管理区域に設定されます。衛生管理区域への立ち入りおよび馬への接触は最小限に留めてください。（「飼養衛生管理基準」第 2 項および第 3 項）
2. 衛生管理区域に出入りする車両は、車両消毒用マット（設置場所は別紙）を通過してください（同第 4 項）。

インドア地区使用の場合

入退場門に設置してある車両消毒用マットを必ず通過してください。

E 棟を使用する場合

以下の流れで消毒を実施してください。

正門（走路横の通路を走行） メインスクエア手前の消毒マット通過 メインスクエア入場（馬および荷物の積み下ろし） 再度消毒マット通過 走路へ駐車

ただし、事務所および正門右手の駐車エリア、走路までの車両は消毒の必要はありません。

3. 厩舎に出入りする方は、前後に手洗いを徹底してください。また、インドアエリアの入退場門および E 棟前に設置した消毒用マットで靴底を消毒するか、あるいは衛生管理区域内専用の靴に履き替えてください。(同第 5 項)